

AGC、窓ガラスに透明ディスプレイを組み込む技術を世界に先駆けて開発

AGC（AGC株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）は、窓ガラスに透明ディスプレイを組み込む技術を世界に先駆けて開発しました。本技術により、窓ガラスから見える風景に重ねて情報を表示することが可能になります。



電源 OFF 状態



電源 ON 状態

当社は視認性に優れ、空間に浮かんだようなデザインが特徴の infoverre[®]（インフォバーレ）を2013年に開発し、ガラスに映像を表示するサインージとして、ビル・空港・ショッピングモールなど様々な場所に本製品を導入しています。

今般 AGC の持つ複層ガラス製造技術を infoverre[®]と組み合わせることにより、窓ガラスへ透明ディスプレイを組み込むことに成功しました。電源を切っているときは通常の窓ガラスですが、電源を入れることで窓ガラスに映像が表示されます。本技術により窓が情報を表示するプラットフォームとなり、風景に合わせて周辺の観光情報等をリアルタイムに表示することが可能になります。今後は映像を表示させるだけでなく、窓を通して様々な情報を入手できるよう、タッチ機能などインタラクティブな機能を新たに追加する予定です。将来的には本技術を、観光名所・博物館・列車・バスなど様々な窓へ適用できるよう、実用化に向けた研究開発を進めています。

AGC グループは、経営方針 **AGC plus** の下、世の中に「安心・安全・快適」を、お客様に「新たな価値・機能」をプラスする製品づくりに取り組んでいます。今後も AGC のガラスサインージ[®]に、お客様に満足頂ける新たな価値をプラスした製品をご提供できるよう、技術革新を進めてまいります。

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC株式会社 広報・IR部長 玉城 和美

（担当：北野 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com）

*当社は2018年7月1日に旭硝子株式会社からAGC株式会社へ社名を変更しました。

*個人情報は当社プライバシーポリシーに従ってお取扱いをさせていただきます。

<ご参考>

■AGCのinfoverre®は、使用環境が厳しい列車における採用を目指して研究開発を進めています。



列車内での導入イメージ

① **PARTITION(パーティション)シリーズ** (2019年7月より製造販売予定)

列車の内装用として、ガラスの両面に映像を表示することができます。

② **軽量大型ワイドスクリーンタイプ** (開発中)

これまで複数画面だった列車扉上部の映像を一画面で途切れなく表示することができます。

③ **列車用窓バータイプ** (開発中)

大型ワイドスクリーンを窓ガラスの上部に組込むことで、風景と共に映像を表示することができます。

④ **列車用窓透明タイプ** (開発中)

窓ガラスに透明ディスプレイを組込むことで、風景と共に映像を表示することができます。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：

A G C株式会社 広報・IR部長 玉城 和美

(担当：北野 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com)

*当社は2018年7月1日に旭硝子株式会社からA G C株式会社へ社名を変更しました。

*個人情報は当社プライバシーポリシーに従ってお取扱いをさせていただきます。